



NEWS 中古遊技機流通の“新たな運用方法”を承認  
特集 点検確認の重要性を再確認する





石山敬達 委員  
(全商協筆頭副会長)



金本正浩 中古機流通協議会委員長  
(全日遊連副理事長)

中古機流通協議会は3月30日、東京・市ヶ谷の全日遊連で開かれた協議会にて「中古遊技機流通の新たな運用方法」について承認、今年6月1日からの運用開始を決定しました。新運用は、移動設置される遊技機について点検確認の実施から移動設置までの保全処置、取扱主任者とホール管理者の責任の所在の明確化がポイントになります。今後は各地区遊商にて、研修会等によりその周知徹底を図り、運用開始への準備を進めていきます。

# 6月1日より運用がスタート! 中古遊技機流通の「新たな運用方法」を承認

中古機流通協議会では、昨年11月から「中古遊技機流通の新たな運用方法」についてワーキング会議（全日遊連、全商協、回胴遊商、日遊協）を加えての協議を重ねてまいりましたが、去る3月30日に開かれた協議会にて構成6団体の承認を得て、6月1日からの運用開始が決定しました。

新運用のポイントは、中古遊技機の移動設置に関して、点検確認が実施されてから移動設置までの「型式の同一性」を担保するための保全処置を施すこと、遊技機取扱主任者と管理者の責任の所在を明確にすること、の2点になります。

まず、型式の同一性を担保するための保全処置ですが、取扱主任者による点検確認は撤去された遊技機について実施し、点検確認後は中古パチンコ機であれば指定のビニール素材で包装し、中古パチスロ機であれば旋錠してからセキユリテシールによる封印処置を施します。そのため必然的に、今までのように点検確認後に営業の用に供することはできなくなります。

また、この新運用により取扱主任者は、点検確認の実施前に遊技機を撤去する営業所の管理者から「撤去遊技機明細書」と「中古遊技機確認書」を受け取ります。

ZENSHOKYO  
全商協  
全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

CONTENTS 4  
APRIL 2013  
VOL.2

- 1 NEWS 中古遊技機流通の「新たな運用方法」が承認される
- 2 特集 点検確認の重要性を再確認する
- 4 石山敬達筆頭副会長インタビュー
- 6 各地区遊商で研修会開催
- 8 インタビュー 遊技産業健全化推進機構 伏見勝専務理事に聞く
- 12 役員さん登場! 北岡昭彦理事
- 16 MLBメール 広岡 勲
- 17 パチンコ Happiness 野球人 水野雄仁さん
- 18 第1回 全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ
- 20 お知らせ・業界NEWS・編集後記



これら書面は当該管理者が作成します。「撤去遊技機明細書」は該遊技機が撤去されたことを疎明するもので、遊技機を撤去する営業所が所轄警察署に変更承認申請をする際に共に提出されます。「撤去遊技機明細書(正)」は所轄警察署に保管され、「撤去遊技機明細書(副)」は撤去した営業所で保管されますが、取扱主任者はコピーを受け取るようになります。「中古遊技機確認書」は撤去した遊技機が正常であることを管理者が事前に確認した上で作成され、点検確認の依頼を受ける取扱主任者へ当該遊技機に異常がないこと、さらにゴト対策等で変更がある旨を申告するための書面になります

以上の「撤去遊技機明細書」と「中古遊技機確認書」は、各地区遊商への打刻申請時に提出する申請書類一式に新たに追加されます。

次に、遊技機が設置先の営業所に納入されるまでの期間は前述の保全処置を施した上で保管され、設置先の営業所に納入されますが、その間の流通過程を取扱主任者は「保管・納品確認書」を作成して保管場所と納入業者を記録します。「保管・納品確認書」の作成にあたっては当該遊技機の保管場所を自ら調査し、納入業者は納入先の管理者から確認するなどして記入します。

この書面は作成後に組合に提出する事後提出書類となります。

一方、取扱主任者と管理者の責任の所在の明確化ですが、相互確認が原則となります。取扱主任者による点検確認前の遊技機については、撤去する営業

当該遊技機に異常がないことを確認した上で受け渡しを完了することが重要となります。

ここまでで中古遊技機の移動設置が完了し、その後は使用者である営業所の責任のもとで管理されますが、もし仮に納入時の封態に異常が発見された場合は、設置後の点検確認時に取扱主任者が当該遊技機を重点的に検査し、その上で移動設置先の管理者と異常がないことを相互確認してから受け渡しを完了します。

※点検確認受渡書とは、現行の「遊技機受渡書」に「ぱちんこ等中古遊技機点検確認リスト」及び「回胴式中古遊技機点検確認リスト」をそれぞれ統合して、新様式としたもの。



# 点検確認の重要性を再確認する

遊技機取扱主任者が作成する保証書の信頼性は点検確認によって担保される。この保証書の信頼性なくして販売業者主導の中古遊技機流通は存在せず、それ故に確実な点検確認の実行が遊技機取扱主任者に求められている。業界共通の財産である中古遊技機流通を堅持するため組合員に課せられた責務は重く、遊技機取扱主任者を始め組合員には職責への意識が大切となる。そこで広報誌第2号では点検確認の重要性を再確認する特集を組んだ。

## 遊技機取扱主任者による点検確認の重要性

### 中古遊技機流通の根幹をなす重要な責務への認識を

遊技機取扱主任者が実施する点検確認は、保証書という許可申請及び変更承認申請、認定申請において極めて重要な書類の作成に欠かせない作業だ。販売業者主導の中古遊技機流通の根幹をなす重要な責務に位置づけられる。平成16年7月の改正規則の施行により取扱主任者の保証書作成が法的に認知を受けたことで責任は明確化された。しかし現在、取扱主任者の点検確認に対する懸念の声も聞かれている。今一度販売業者が担うべき法的責任について改めて確認しておきたい。

#### 「点検確認書」が「保証書」へ格上げに伴い法的責任も明確化

業界内では遊技機規則の改正に目が向きがちな平成16年7月1日施行の改正規則。だが、販売業者側から見ると遊技機取扱主任者（以下、取扱主任者）が初めて法的に

明記され、改正以前は業界の自主ルールとの位置づけだった「新中古機流通制度」（平成12年6月1日施行）が法的認知を得た画期的な改正となった。

改正規則のもとにスタートした中古遊技機流通で柱となったのは

取扱主任者の点検確認による保証書の作成だった。登録販売業者に

所属する取扱主任者による目視点検によって作成された「点検確認書」がメーカー発給の「保証書」と同等に「格上げ」された。もつ

とも旧制度でも、この点検確認書を軸に中古遊技機流通が運用され、中古パチンコ機についてはこの「点検確認書」で動かすことができたが、新規則施行からは取扱主任者が作成する書類の名称も「保証書」に改められると同時に、その範囲を中古パチンコ機まで拡大された。

取扱主任者の認定基準については、規則改正を翌月に控えた平成16年6月22日に警察庁生活安全局生活環境課（当時）の通達で示さ

れた。同年6月2日開催の全商協

第16回通常総会。若田英課長補佐（当時）は行政講話の中で「公安委員会が認める者」、すなわち取

扱主任者の認定基準について「日遊協で実施している（登録販社制度の）取扱主任者の資格を持っている方を考えている」と言明した。その言葉通りに22日の通達でも遊

技機取扱主任者を「遊技機の点検及び取扱いを適切に行うに必要な知識及び技能の取得を目的とした講習を受けかつ試験に合格した者」とする見解が示され、その講習及

び試験の実施主体を日本遊技関連事業協会（日遊協）に指定。日遊協が実施する遊技機取扱主任者講習を受講し、かつ遊技機取扱主任



者試験に合格した者に保証書作成を認めた。現在、取扱主任者に与えられる「権利」は、これによって担保されるものだ。

### 公安委員会が認める者に必要な点検等を適正に行うに足る能力

ホール営業者が遊技機を設置する際は、公安委員会に対して許可申請及び変更承認申請、認定申請に対して承認を得なければならぬ。その際に提出する書類の中に検定通知書の写しと「保証書」がある。検定通知書はホールに設置しようとする遊技機の型式が検定を受けていると疎明する書類。当該遊技機が検定を受けた型式に属することを疎明する書類が保証書だ。

この保証書に関して改正規則では「公安委員会が遊技機の点検及び取扱いを適正に行うに足る能力を有すると認めるものが作成した書面」（府令第一条第十一号ハ）と明記され、製造業者（メーカー）以外への中古遊技機に係る許可申請及び変更承認申請、認定申請時の保証書作成が法文化された。

では、「公安委員会が認める者」とは誰を指しているのか。

解釈運用基準第十一条第十三項

(1)には「遊技機規則第一条第三項第二号ロ(2)又は(3)に規定する者であつて、同条第四項に規定する要件に該当する者をいう」とされている。この遊技機規則第一条第三項第二号ロ(2)及び(3)とは次の通りである。

(2)遊技機の保守管理を業とする者又はその従業者（当該事業者が法人である場合にあつては、その従業者に限る。）であつて、遊技機の点検及び取扱いの業務に従事しているもの

(3)法第十条の二第一項の規定による認定を受けた風俗営業者に係る法第二十四条第一項の管理者

(3)はホールの管理者を指す。注目が販売業者に係る(2)の要件だ。

「公安委員会が遊技機の点検及び取扱いに関し十分な知識及び技能を有し、遊技機の点検及び取扱いを適正に行うことができる」と認められる者であること（検定規則第一条第四項第二号イ）――。

この要件を満たす者を「遊技機取扱主任者」と呼んでいる。

行政当局は規則改正以前の中古パチンコ機流通への実績を高く評価、日遊協の登録販売業者制度に規程されていた取扱主任者資格を

持つ者を保証書の作成者に認定した。取扱主任者の保証書作成は、こうした法的根拠と行政当局の見解のもとに認められていることを十分に認識する必要がある。

### 遊技機取扱主任者作成の保証書信頼性が揺らげば重大な事態に

点検確認項目はパチンコ機で27項目ある。現在の運用上では保証書の作成時に行う「事前点検確認」と移動先ホールへの設置後に行う「納品点検確認」の2回の点検確認が取扱主任者に求められている。検定を受けた型式に属する遊技機に不正等が介在していないことを疎明するための点検確認は、中古遊技機流通において極めて重要な作業であり、その点検確認を基に取扱主任者が作成した保証書の信頼が揺らぐことは、販売業者が流通させる中古遊技機の信頼もぐらつかせる重大な事態となる。

改正規則以前の中古パチンコ機のみを対象にメーカーが作成する保証書に代わって、販売業者作成の点検確認書で中古遊技機を動かすシステムは「新中古遊技機流通制度」と呼ばれた。この制度が行政当局から一定の評価を得たこと

で販売業者を想定した「遊技機の保守管理を業とする者」という一文が法に明記され、「点検確認書」ではなく「保証書」の作成が認められたことはすでに述べた。行政当局の承認のもと運用されていた「新中古遊技機流通制度」が規則に格上げされた経緯を考えれば、信頼に応えるべく責務を全うしなければならない。

そのためには、確実な点検確認の実行をもって取扱主任者が作成する保証書の信頼性を担保し、中古遊技機流通に携わる者が基本事項を遵守していくことが必要だ。取扱主任者には点検確認に対する知識や技能が必須であり、適正に実行できるための精度が求められる。また、風適法でも保証書の作成者に対して同様の能力を有することを求めている。

全商協傘下の各地区遊商では研修会等を通じて中古遊技機流通の携わるすべての従業員のスキルアップを図っているが、今後は取扱主任者の点検確認に業界内から懸念が示されないよう、適正な中古遊技機流通が運用されるよう組合員が丸となって取り組まなければならない。



——始めに取扱主任者が実施する点検確認に対する考えをお聞かせください。

石山 まず、遊技機取扱主任者（以下、取扱主任者）が作成する保証書の文言を確認してもらいたいのですが、保証書には「法律第20条第4項の検定を受けた型式に属する下記の遊技機について点検・確認したところ、その構造、材質又は性能に影響を及ぼす改造その他の変更がないことを確認したことを保証します」とあります。遊技機メーカーが発給する新台の保証書は、検定を受けた型式に属する遊技機である事を疎明する書類ですが、取扱主任者が作成する中古遊技機の保証書は、検定を受けた型式に属する遊技機に改造又は変更がないことを取扱主任者が「確認」したことを疎明する書類です。端的に言いますと、保証書を作成するのに点検確認の実施が前提となっているわけです。

——では、確実な点検確認を実施する際に組合員には何が求められるのでしょうか。

石山 中古遊技機流通制度の根幹は、中古遊技機を、検定を受けたときの状態で流通させることにあ

ります。そのために点検確認を実施して「構造や材質又は性能に影響を及ぼす改造その他の変更」がない遊技機であることを確認することを前提に、取扱主任者の保証書による流通が認められています。ですから、取扱主任者には点検確認によって遊技機に改造等の痕跡がないことを「見る」技術が重要となりますが、それと同時に、遊技機をできるだけ多く販売したいという営業面だけを重視することをやめていただき、正しい遊技機を流通させるという、流通のプロ

としての責務を自覚することが大切になります。そのためには点検確認のスキルアップだけではなく、中古遊技機流通を担う者としての意識向上も必要になります。

——取扱主任者には点検確認の技術だけではなく、職責への意識も大切ということですね。

石山 そのため全商協では井上会長のもと、各地区遊商に対して組合員の代表者や取扱主任者に向けた研修会の開催を指示しています。これは点検確認に対する技術の向上だけではなく、中古遊技機

流通が適正に運用されるよう職責への意識の向上も図っています。さらに、現在は取扱主任者の点検確認に対して懸念する声も聞こえていますので、点検確認の重要性を中古遊技機流通に携わる者が再認識する時期ではないかと考えています。井上会長も昨年の通常総会の就任挨拶で「違反者ゼロ」を

目指す方針を表明しましたが、今後も組合員の意識低下を招かないためにも全商協として各地区遊商を通じて対応していきます。

——次に保証書を作成した中古遊

# に欠かせない 重要性を しい

点検確認の重要性を訴える石山筆頭副会長





技機の保管に関して、行政当局より指摘されている点があります。

石山 昨年1月の中古機流通協議会で行政当局から、保証書作成後の遊技機が移動設置されるまでの期間のセキュリティについての指摘がありました。現行制度では取扱主任者が点検確認を実施して保証書を作成した中古遊技機は、移動設置後にも点検確認を実施して保証書を作成した時点の遊技機と“同一”であることを再確認しています。ただし、メーカーは保証書を作成した新台を納品設置するまでの期間、外部から接触できないよう保全処置を施しています。中古遊技機では特別な保全処置は施していません。その理由は、先ほども言いました通り、設置後の点検確認によって保証書を作成した遊技機と同一であることを確認しているからです。しかし、行政当局からは作成した保証書の信頼性を担保する観点から中古遊技機も新台と同様の保全処置を施すべきではないかと指摘されました。そこで、全商協で議論し、中古機流通協議会で協議した結果、点検確認を実施した遊技機は移動先に納入されるまで、“包装・封印処

# 中古遊技機の保証書作成 “点検確認”の 再認識してほ

前項では、中古遊技機の保証書を作成できる遊技機取扱主任者の法的責任等を再確認したが、本項では保証書作成に極めて重要な“点検確認”を再認識するため石山敬達筆頭副会長に話を聞いた。

インタビューで石山筆頭副会長は、点検確認についての“技術”だけではなく職責への“意識”も大切だと説く――。

ていない)

――では、認定申請に関わる業務における点検確認についてですが、今年2月よりデジタルカメラによる撮影が導入されています。現状で問題等はありませんか。

石山 カメラ撮影に関しては、点検確認時の遊技機の状態を記録に残すことで、受け渡し後の責任の所在を明確にする目的があります。すでに昨年12月に各地区遊商で研修会を開催し、今年1月のテスト期間を経て2月から本格的な運用が開始されていますが、現在までに特に大きな混乱等はありません。ただし、やはり長期間使用されている遊技機の内部を撮影するため汚れ等により撮影が難しい事例があるようで、今後は取扱主任者の撮影が適正に行えるよう工夫を考える必要があるかもしれません。

――最後に今後の方針を聞かせください。

石山 今後は中古遊技機流通が適正に運用されるよう組合員の指導等を徹底していくと同時に、組合員がスムーズに中古遊技機流通を実施できるようシステムの見直しやルールの構築などを含めた対応にも取り組みたいと思います。

置を施す”ことを決定しました。つまり、点検確認後にホールは当該遊技機を営業に使用することができなくなるのです。

――包装・封印の具体的な方法はどうか。検討されているのでしょうか。石山 まだ検討している段階です。

が、具体的には外部から手を触れられないようにビニール素材で包装し、繋ぎ目に剥がされた痕跡の残るセキュリティシールを貼付して保管・流通させる方向性で協議しています。(編集部注・インタビュー時点では最終決定には至っ



各地区遊商で研修会開催

## 関西遊商「実機による研修会」実施

中古機流通における「取扱主任者の点検確認」に対して、「責任の所在の明確化」「型式の同一性の担保」等に懸念を抱けているのが現状だ。

そうした状況を何とかして打破するために、全商協では各地遊商での代表者及び取扱主任者研修会の内容を充実させて、更なる流通の健全化を目指している。

その一環として、関西遊技機商業協同組合（井上威夫理事長）は、今回初めて、実機点検の実技を取り入れた、新しい内容の研修会をスタートさせた。研修会初日は2月26日、大阪市内のホテルで開催され、179名の取扱主任者が研修を受けた。

なお、この研修会は大坂会場を皮切りに、京都・神戸会場などで計6回にわたって開催され、合計475人が参加した。

研修会では今回初めて実機点検を採用したのは「いかに点検確認を適正に行うかは、取扱主任者としての原点」という事で、会場に用意された実機は10台で、しかもそれぞれの遊技機には、「裏ロムやぶら下がり」を仕込んであるほか、主基板ケースをカッターで開封する等、チェックするべき様々な問題点が仕込まれている。参加者は、特別講師として招かれた有限会社エースソリューションのCEO丸吉理氏から、点検確認の際の「ゴト」（外部不正行為）を見逃さないためのチェックポイント

を具体的に学んだ。以下は点検の要となる4項目。

### 1 主基板ICチップ

●チップ表面にプリントされた日付に注目。例えば、2007年製の遊技機に08年製チップは付いていない。

●チップ全体の日付を確認し整合性から外れた日付のチップを探す。

●基板を取り外し、ハンダ面を確認。ラインで取り付けられたチップのハンダ面は均一なので、乱れた部分を探す。

●基板を横から見て、チップの下にけいいなチップが仕込まれてい

ないかを確認。その際、ライトは反対側から照らせば確認がしやすくなる。

### 2 中継基板

●スタートセンサーと主基板をつなぐリード線を点検。発見が容易な代物なので、逆に見落とした場合言い訳ができない

### 3 CRユニットの結合基板

●基板の裏側には基本的にも付いていないので、何かが付いているのは異常である。

### 4 賞球基板

●異常があれば必ず何か変なモノが付いているはず。

●主基板と賞球基板はカシメを必ずチェックする。

●カッターで切断した後、元に戻せば発見しづらくなるが、今回その状態を見てもえれば違いは分かってもらえるはず。

そして最後に、次の3項目をまとめとして、講義を締めくくった。

### ① 移動のための点検は特に大切

② 「我が社だけは大丈夫」といった過信は絶対に良くない。

③ チェックポイントを明確化し、確実にチェックを行う。

初めての実機を使っでの点検確認研修会。参加者は真剣な表情で点検指導を受け、作業のスキルアップを目指していた



巧みに仕掛けられた「外部からの不正」をいかにして見抜くかには、取扱主任者の集中力も欠かせない





## 認定申請業務の要点

本誌創刊号でも「認定申請機の写真撮影について」その業務作業の流れをフローチャート等で掲載したが、今年1月からの1か月間のテスト運用期間を経て、2月から本格運用がスタート。そこで、写真撮影の導入による認定申請業務の要点をまとめてみた。

この写真撮影には、遊技機取扱主任者が認定申請機の点検確認を実施した状況をデジタルカメラによって記録・保存し、ホール営業者へ受け渡した後の責任の所在を明らかにする目的があります。これによって変更された作業工程の要点は次の通りです。

■各地区遊商の事務局は、FAX送信された「認定申請遊技機点検確認依頼書」に基づき申請台数分の認定用確認証紙シールを発行していますが、現在は6桁の交付番号も同封しております。この交付番号は写真データを格納する際のフォルダ名に使用します。

■次に遊技機取扱主任者による点検確認の実施後に認定用確認証紙を貼付しますが、その後に◎主基板製造番号、◎主基板ROM、◎主基板全体、の3か所を撮影します。写真データには日時の印字が義務付けられていますので、撮影の順番には注意してください。また組合員は、写真データを3年間保存・管理します。

■写真データは認定申請書類と一緒に組合事務局に提出しますが、データは支給しているUSBメモリーに格納して提出します。1日に複数機種を申請する場合でも1本のUSBに収め、申請する書類ごとにフォルダに分けて整理します。この時にフォルダ名は西暦の下2桁+交付番号とします。西暦は年度表示となりますので、10年4月～11年3月までの申請分では「11-交付番号」となります。

■事務局では提出された写真データが条件に合っているかを原則として申請窓口にて確認します。ただし、あくまで提出条件にあっていないかを確認します。提出時に条件に合わない写真については撮り直しを要請します。その場合は、当該遊技機の3か所すべてを再撮影し、再提出することになります。提出写真に問題がなければUSBを空にしてその場で返却します。写真の再提出が必要でも申請書類は受理し、申請日を含む5営業日目に打刻認定書類等を発給します。写真の再提出は打刻認定書類等の発給までに行って下さい。

その他、注意点がありますので、マニュアルをよく読み、不備がないようにお願いします。

実機研修では7～8名のグループに分かれて実機を点検。10台の機械には、和久田守彦セキュリティ委員はじめ各セキュリティ委員がガイド役として付き添った。研修会終了時、進行役を務めた荒谷博文セキュリティ担当役員は、次のように締めくくった。

「行政からの疑問を正しく理解してください。QRコードの送信が点検確認ではありません。不正機

発見の方法を今回の実機チェックでレベルアップさせてください」

井上理事長は「昨年の中古機移動の実績は、約175万台。その内チェーン店間移動が52%、売買は48%です。売買分にはホール間売買を含みますので、皆様が売買に係わっているのは、中古機移動全体の約30%と思われます。チェーン店間移動やホール間売買用書

類作成の為の作業がかなりのウェイトを占める中で、中古機の取扱いに対する感覚が薄れてきてはいないでしょうか。関西遊商では、中古機流通における不正防止に向けて、確実・的確な点検確認を、すべての取扱主任者が実施できるように、今後も組合として「中古機の取扱いの知識、意識の向上」を目指していく」と熱く語った。

「取扱主任者の方々は、不正発見の方法を今回の実機チェックでレベルアップさせて下さい」(荒谷セキュリティ担当役員)



研修会終了後には、会員手帳に「研修会出席」の確認印鑑を指導者から押してもらう

ペンライトを使っっての基板検査。細部の見極めも神経を使う作業だ



一般社団法人

# 遊技産業健全化推進機構が

## 行っている

平成18年8月8日に業界12団体が母体となって遊技産業健全化推進機構は設立をされた。当初は有限責任中間法人として設立され、平成20年12月からは一般社団法人として活動を行なっている。なぜ機構が設立されたのか、また、現在、どのような活動を行っているのか、伏見専務理事にお伺いした。

## 不正防止活動

聞き手 全商協広報誌編集部



不正許しません!

遊技産業健全化推進機構

第三者機関がスタートしました

おかしいと思ったら すぐここへ

<http://www.suishinkikou.or.jp>

スイシンキコウ

— 本日はお忙しいところ全国遊技機商業協同組合連合会の広報誌にお付き合い頂き、誠にありがとうございます。早速ですが、遊技産業健全化推進機構の立入検査活動がかなり強化されていると聞いています。設立の経緯などを含め、お話しをお伺いしたいと思います。よろしく願います。

伏見専務理事 こちらこそよろしくお願います。こういった機会を頂きましたので、本日は遊技産業健全化推進機構の活動について判り易くお話しをさせて頂きたいと思っています。

まず、機構が設立された経緯ですが、これは皆さんもご存知の事だと思えます。平成16年に遊技機規則の改正が行なわれましたが、

この改正理由にそったものだと聞いています。遊技機規則の改正の理由は、一つには射幸性が高過ぎる遊技機、特に回胴式遊技機が市場に回り、社会的な問題にもなっていたこと。さらに、もう一つの問題が遊技機の不正改造行為の横行であったわけです。

当時、私は業界外にいましたので詳しくはわかりませんが、業界団体側でもこういった状況に危機感を覚え、不正改造遊技機に関する情報を集め行政に提供したり、さらに業界団体によっては実際にパチンコホールに対する立入検査等も行っていたようです。しかし残念ながらその状況は大きく改善されず、業界団体が一致団結して対処する必要がある、という結論に至って機構が設立されたのです。また、設立された機構が、業界団体の意向によって、その方向性を変えようとしたことがあっては困りますので、第三者機関の位置づけとして、その役員も業界団体から選出された役員が過半数を占めることが出来ず、更に要職にも就けないよう定款にも定められています。次に、ここからは遊技産業健全化推進機構が行っている主な活動



である、パチンコホールに対する立入検査に的を絞ってお話しをします。その方が機構の活動が判り易いと思います。

まず業界団体が集まって、第三者機関として機構を設立し、随時、無通知で各ホールに立入検査を行ったとしても、結局は民間の取組みなのです。従って、例えば「立入検査は拒否します」とホール側に言われた場合、それでおしまいのです。

従って、まずパチンコホールは、遊技産業健全化推進機構に対して誓約書を提出され、いついかなる

時においても機構の立入検査は受け入れることを誓約頂いています。

そして、パチンコホール側から誓約書を提出して頂くだけでなく、立入検査が拒否できないような仕組みづくりが構築されました。詳しくは独禁法との絡みで機構としてお話しすることができませんが、各遊技機メーカーや各遊技機販売会社は、遊技機の不正改造行為に対しては非常に強い危機意識を持ち、さらに個々に独自の販売方針をとっておられる、とお聞きしています。遊技機の売買契約書にはそのあたりのことが明記されていると思います。

つまり、今回の遊技機の不正改造根絶に向けた取組みは、機構が各パチンコホールに対して立入検査を行っていることだけが大きくクローズアップされていますが、それだけでなく、各業界団体や、更にパチンコホールや遊技機メーカーの各企業がそれぞれの立場と責任で、大きな役割を担って実行されている、ということなのです。

なるほど、各業界団体の不正防止に対する危機意識により、機構が設立されて活動が開始されたわけですね。さらに業界に携わる

ほとんどの方が関係していることが良くわかりました。それでは具体的な立入検査活動はどういった状況なのでしょう？

**伏見専務理事** 機構としては平成19年に入って直ぐ、各パチンコホールから誓約書を提出して頂きました。そして、平成19年4月から立入検査を開始し、初年度には47都道府県の767店舗に対し立入検査を実施しました。また平成20年度には2995店舗を訪問し、立入検査を実施しました。また、今まで行った検査は、営業時間中が圧倒的に多かった訳ですが、検査の拒否をされた店舗は全国で1店舗もありませんでした。さらに今年度は目標店舗数が全国で3200でしたが、1月末時点の10か月間で、既に3773店舗（速報値）に対して立入検査を行っています。総計で全国7536店舗のパチンコホールに対し、立入検査を行ったこととなります。誓約書を提出されたパチンコホールさんが1月末時点において約1万2750店舗ありましたので、達成率としては59%を超えたところではないでしょうか。

差し支えなければ教えて頂き

たいのですが、具体的に機構はどのような検査を行っているのでしょうか？

**伏見専務理事** それでは機構が行う立入検査の方法を、順を追ってご説明しましょう。

まず検査員は複数人、つまり2名以上で対象としたパチンコホールにお伺いします。機構の検査員はすべて統一の青いジャンパーを着用し、身分証明証を携帯しています。もちろん情報に基づいてホールを選定するなどの狙い撃ちはありません。単に地域的なもので、ある基点となる店舗を決めたら、その地域のパチンコホールには全てお伺いするようにしています。また、よく質問やご意見を頂くケースとして、いわゆる非組合員と組合員では検査方法が違うのではありませんか？というものがありますが、全く根も葉もない噂で、こういった差別的なことは一切しておりません。

そしてパチンコホールの中に入ったら、ホール側の責任者の方と立入検査を行うことについて交渉を行います。その際、当該パチンコホールから提出された誓約書のコピーや検査の流れを紹介した



機構のジャンパー



誓約書提出証明書



もの等をお渡ししています。あわせて、伺った検査員がゴト師でないかどうかを最終的に確認頂く手段として、当該パチンコホールから機構本部に電話連絡をして頂き、その確認を行なっています。電話番号は検査員からお伝えしますし、インターネットホームページでも紹介しております。

全ての準備が終了したら実際の検査に入ります。その際、検査を行う遊技機はこちらで指定をさせて頂きます。ただし、営業時間中であればご遊技されているお客様の台は検査しませんし、できるだけご迷惑にならないよう、お客様の近くでは検査を行わないようにしています。

検査はパチンコ遊技機、回胴式遊技機ともに目視と写真撮影が中心です。ただし、パチンコホールから提出頂いた誓約書に明記されている通り、撮影機器及び検査機器等を使用した検査を含めた必要な方法等により行ないます。従いまして、いつも目視や写真撮影だけでなく、レントゲン検査やロムチェッカー等を使う可能性もあるということです。

——本日、機構が実施されている

立入検査のことを、初めて詳しくお聞きしました。検査を行うにあたっては、いろいろと工夫をされているようで大変だと思えます。それと検査の結果、何か異常な事案があった場合はどうなるのでしょうか？さきほど全国で7536店舗を検査された、とお伺いしましたが、どのようなことがあったのでしょうか？

**伏見専務理事** 今のご質問でお答えできる事と、そうでない事があります。

まず、検査の結果、何か異常を発見した場合は、単純に行政当局に通報します。そして検査を行った遊技機が異常なのか正常なのかの判断基準は、保通協の試験に合格し、各都道府県の公安委員会の検定を通った遊技機が正規の遊技機であり、その遊技機になんらかの付加部品が取り付けられてたり、部品が交換されている痕跡があった場合は、異常とみなしています。つまり不正改造として判断します。もちろん正規な手続きを経て取り付けられているゴト対策部品などは全く問題とはなりません。

機構の検査員は、全国各地で立入検査を行ないました。そして異

常となったケースは色々ありましたが、様々な問題があり、これは表に出してお話しするわけには参りません。また、検査員の身の安全と、公正、

公明、公平な検査を行うため、検査員は名前を名乗りません。ただし、検査員はそれぞれ検査員番号を持っていますので、パチンコホール側にはそれでご判断頂いています。——よくわかりました。異常な事案についてはどのようなことがあったのか、単に興味があるというよりも、そういった異常な事案を業界内で生かすことができないのか、と思っています。その他、何か立入検査を行った際に気付かれた点がありますでしょうか？

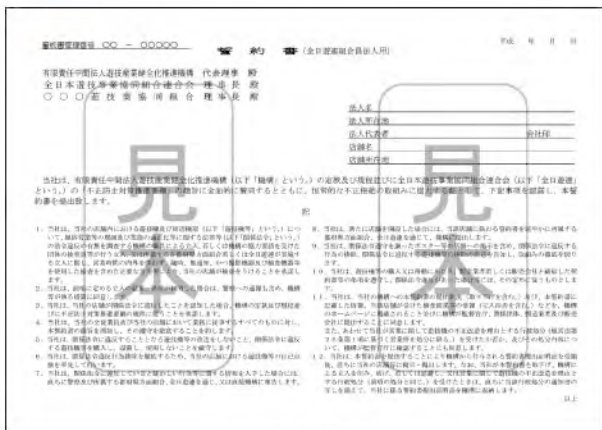
**伏見専務理事** 気付いた点は細かく上げれば本当にたくさんあります。しかし、私が申し上げたいのは、まず、この業界の人はきちんと人の話を聞いていない、ということ。そして文書をよく読んで理

解されていないことがあると思います。例えば、誓約書を提出されたパチンコホールの代表者の方がおられたとして、その方に誓約書の内容を聞いても理解されていない、従ってホールの店長やホール主任に説明が出来ていないことが多いのです。悪気はないのですが、やはり問題だと思っています。きちんとサインをし、ハンコも押されているのですから。

以前、各業界団体の方にも注意をお願いしたのですが、パチンコホールに検査にお伺いした検査員が、ホールの責任者の方に突き飛ばされた事件がありました。実はこの事件だけでなく、責任者の方が立入検査を全く理解されておらず、立入検査の交渉に時間がか







誓約書

かることは大変多いのです。しかも普通の交渉ではなく、一方的に怒鳴られることもよくあります。検査員はこういった状況にも関わらず、立入検査拒否の店舗を出さないよう、責任者の方を説得し、地道な努力を続けているのです。本来であれば、パチンコホールの責任者の方は誓約書の内容を熟知し、さらにパチンコホールに勤務するすべての従業員も理解されるべきことだと思えますが、実際にはそういった現実にあるのです。更にこの業界の方は噂などに惑わされることも多いと感じていますので、もし機構に対する疑問など

があれば、ちゃんとお答えします。きちんと確認して欲しいと思っています。

——今、ご指摘をされた点は、遊技業界の中で耳が痛い方が多いのかもしれませんが。ほとんどの業界団体が機構の設立には関わっていませんし、一致団結して遊技機の不正改造を撲滅することを目的として構築したシステムなわけですので、私たち販売会社の関係者も肝に銘じておきます。また、必要に応じてお客様であるパチンコホールの方にも立入検査に関して説明ができるようにしたいと思っています。

最後になりましたが、今、申し上げた通り、私たちは遊技機の販売会社の団体になります。何か不正防止に関することでお話しを頂くことはありますでしょうか？

**伏見専務理事** まず、中古機の流通に関しては、移動する遊技機が不正改造されてないかどうか、よくチェックをして頂かないと困ります。

この点は先程お話しした通り、検査結果にも繋がりますので、詳しくはお話しできませんが、うちの検査員が検査を行った結果、遊技機に異常を発見し、それが中古機であった、というケースが非常

に多いと感じています。もちろん、これは移動の際にチェックを行つた遊技機取扱主任者だけが悪いということではありません。パチンコホールに設置してから、不正改造されたのかもしれないからです。しかし、機構の検査員が受けた印象としては、パチンコホール側も異常を全く認知していないことが多いようなのです。それも、異常なケースとして、基本中の基本である封印シールが剥がされていたり、カシメが壊されていたりしているのです。ICチップの巧妙な不正改造が判らなかつたということであれば理解できますが、そうではなく、誰が見てもダメな状態で遊技機が設置されてあるのです。

こういったケースが中古機には多いと感じているのです。この点はホール側だけが悪いというわけではないと思っています。中古機を移動する際は、当然、ルールに則って販売会社側とホール側の責任で行っていると思いますので、お互いに責任があるのだと思っています。

——今、ご指摘を頂いた点に関しては、中古機流通協議会の中においても議論され、今度から少しルールを変更して対応することにな

りそうです。現時点においては細部の詰めの段階ですが、やはり不正改造された遊技機がそのまま移動されないよう、販売会社の責任としてきちんとチェックを行っていきようになりたいと思います。パチンコホールさんからの信頼を失うのは販売会社にとって大きな損失になるからです。

私たちは、遊技機メーカー、パチンコホール、そしてパチンコファンあつての遊技業界だと思っています。販売会社である全商協組合員一同もその一翼を担うものとして、関係団体とともに業界健全化に向けた取組みをどんどん行なっていきたいと思っています。

その先にこそ業界の未来があるのだと思っています。

本日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。

**伏見専務理事** こちらこそありがとうございました。最後になりましたが遊技産業健全化推進機構に對しましては、全商協の皆さんに日ごろよりご支援とご協力を頂いておりますので、本当に感謝しております。これからも同じ目的に向かつて、業界健全化のために頑張っていきたいと思います。



役員さん  
登場!

釘師から  
販社を立ち上げる

「機械を買ってもらったら終わり  
ではない。機械を入れた以上は、

# 北岡昭彦

お客を付かせて、店に実績を残し  
てもらうことが私の仕事。釘のこ  
とで文句をいわれたら、オーナー  
でも鍵を返していました。そ  
れぐらい自分の仕事には自信を持  
っていました。揉み手の大阪商人

全商協理事  
全商協リサイクル・環境対策委員会副委員長  
関西遊商筆頭副理事長

は嫌い。ズバズバものをいうので、  
現場には煙たがられますがね」と  
笑うのは北岡昭彦理事。現在、全  
商協でリサイクル・環境対策委員  
会副理事長を務める。

北岡理事と組合の関わりは、平



全商協の流通セキュリティ委員長として、メーカー  
から出荷された遊技機を安全にホールへ届ける流通の  
礎を築き上げた北岡昭彦理事は、現在、リサイクル・  
環境対策委員会で副委員長として手腕を揮う。全商協  
内で古参格となった北岡理事の新たな取り組みは環境  
対策。組合活動を縁の下から支える挑戦は終わらない。

## リテーターを 礎を築く



成元年、遊技機販社「近商」を設立して関西遊商へ加入したときに遡る。

販社を興す以前は、おじが経営するホールで10年ほど釘を叩いていた。その技術を見込まれ、ブラボーチームに沸く平和の技術部準社員となって開店釘を叩くようになる。

5〜6年して釘師として独立。ピーク時には22〜23店舗の釘を叩いていた。

「助手2人を連れて和歌山から大阪の北摂地域までを一晚で回っていました。店が閉店してから明け方まで釘を叩き、それが終われば共同経営していたホールの開店準備です。家に帰るのは昼の2時、3時。こんな生活が5年ほど続きました。体も壊し体力的にも限界でした」

これらの得意先に機械を販売するために興したのが近商だった。

釘の面倒を見ながら得意先を繁盛させるスタイルには定評があった。近商が導入した機械はモデル店になる、と評判が立ち、メーカーからも一目置かれ、全メーカーの機械を扱うことができるようになる。

## 流通セキュリティ委員長の 大役で本領発揮

ホールの現場や、現状を良く知り、自分が思ったことをズバズバと本音で語る性格を買われ、全商協の理事に就任したのが平成8年のことだった。

大役が回ってきたのは平成13年。当時はパチンコ機が流通段階で不正基盤に取り替えられる事件が頻発していた。全商協の悲願だった中古機流通システムの確立に向け、流通時でのセキュリティの担保が必要になってきた。この課題を解決するために、北岡理事に流通セキュリティ委員長（現在はセキュリティ委員会）の白羽の矢が立った。

手始めに行ったのが流通過程の実態調査だった。遊技機はメーカーを出荷すると運送会社を経て一旦倉庫へ保管され、それから夜間、ホールへ機械が搬入される。流通過程でメーカー、運送会社、倉庫、販社、ホールのそれぞれの責任の所在を明確にすることから始めた。

「全国の運送屋さんを各単組で調べてもらいましたが、運送屋さんとの温度差を一番感じましたね。当

時は倉庫も開けっぴろげ、誰が入ってきたかも一切管理されていない。トラックも平ボディーに幌をかけるだけのものも多数ありました。一番驚いたのが保険。荷物や火災保険にも入っていない状態でした」

この状況ではセキュリティを担保できるレベルには程遠かった。全商協側から運送会社に要望したことは、倉庫の24時間録画装置の設置、トラックの荷台は箱型で施錠と封印、倉庫の入退室管理に加え、セキュリティ会社の監視も入れさせた。運送会社になれば余分な出費で、管理責任も負うことになる。

「ここまでやっていたら運送屋さんが疑われることもない。メーカーとも良好な関係が保てる」と説得して回り、理解を得る。

今ではトラックにはGPSが取り付けられ、倉庫の入退室管理も万全。24時間録画のビデオカメラで記録は6か月保存されている。

中古機流通の根幹に関わる問題は解決された。流通のフォーマットが確立され、中古機流通業務も軌道に乗った。流通セキュリティ委員長の大役を無事果たすことができた。

# 流通過程のセキュリティ 確立して、中古機流通の



## 廃パチンコ台の 海外流出阻止に 地道な啓蒙活動

流通セキュリティ委員長の2年間務めた後、北岡理事に次に待ち受けていたポストがリサイクル・環境対策委員会の副委員長だった。これは平成15年から平成22年まで続いた。

「廃棄台の適正処理及び遊技機のリサイクル推進」を目的に委員会が設立されたが、一筋縄では行かなかった。

ホールから排出される廃棄台は、廃棄台といえども所有権はあくまでもホール側にあるからだ。かつては廃棄台の処理費は、ホール側が負担していた時代もあった。全商協の指定業者を使えば、その負担がなくなったとはいえ、液晶だけでなく、価値のない廃棄台を100円や200円で買い取る輸出業者が出現してくると、廃棄台は自ずとそちらに流れた。

輸出業者は香港でのリサイクルを目的に、足繁くホールへ通い、廃棄台を買い上げていった。

懸念していたことが現実になる。平成18年11月、廃棄台の不正輸出

で転売先の中国では健康被害を引き起こしていることがマスメディアで一斉報道された。

これを受けて関西遊商廃棄台リサイクル委員会は、中国でのリサイクル現場の実態調査に向かった。プラスチックを溶かしてペレットにしている正式な工場も見学したが、非合法的な廃棄台処理の現場も目の当たりにした。

「河川敷で不要になったリールやセル盤を燃やしている。これが、対岸が煙で見えないほど。配線の中の銅を取るのに、配線ごと全部燃やしてしまうので有毒ガスも出る。それを作業する子供が吸っている。基盤やチップは化学薬品に浸けて比重で金を取り出す。廃液は川へそのまま垂れ流すので死の川です。辺り一帯異臭が立ち込めていました」

日本から運ばれた廃棄台が適正に処理されず、環境汚染や健康被害を招いていることに視察団の心が痛んだ。この時北岡理事は「自分たちが使った台は国内で適正に処理しなければいけない」と決意を新たにす。

中国での違法な処理現場を撮影した写真を添えて業界誌などに広

報活動をしたほか、北岡理事はその資料を手に、担当する近畿2府4県のホールを回って地道な啓蒙活動を続けた。

昨年12月、日工組が廃棄物処理法の特例制度である「広域認定制度」を取得したのに伴い、廃棄台リサイクルは全商協から日工組へバトンタッチされる。

このため、全商協での新たな事業柱となるのが環境対策だ。本格的な取り組みはまだ始まっていないが、北岡理事の名刺には石を原材料にしたストーン紙が使われている。木材パルプは森林破壊につながるだけでなく、紙を作る時に大量の水を使用するが、ストーン紙は環境に優しいことが特徴だ。



## 関西の倉庫に 残っていた4号機を 適正処理

北岡理事の下には色々な仕事が無い込む。数年前、各地で暗躍した違法賭博店「闇スロ」は、射幸性の高さが問題となり平成19年6月に業界から撤去された4号機が使われていた。

全てにとことん徹底した凝り性。公私はもとより、仕事から始まって、趣味嗜好まで、北岡流には「これでいい」は許されない。ゴルフに至っては、6日に1度はプレーしている勘定になるほど世界を股にかけてコースを制覇中。社会貢献も半端ではありません。10年にわたってチャリティーコンペ開催をはじめ、ホールインワン記念招待ゴルフ等、35年間のキャリアは伊達ではありません。普段からジムでのトレーニングも欠かさない用意周到さと、努力の積み重ねが健康維持の秘訣とか。

AKIHIKO KITAOKA



大阪府警も闇スロ店の摘発に乗り出す一方で、撤去された4号機の実態調査を大遊協に求めた。その依頼はすぐさま関西遊商の北岡筆頭副理事の仕事となる。

これ以上、違法賭博に使われなためにも、撤去された4号機を速やかに処理することが求められた。

関西エリアの倉庫を調べた結果、撤去された4号機が3000台以上倉庫で眠っていた。すぐにそれを適正処理しようにも所有権はホールにあるので、勝手に処分できない。加えて、パチスロ機は処理するのに台当たり1400〜1500円はかかる。これに運送代がプラスされる。膨大な量に莫大な処理費用。ホール側にすれば経費のかかることは極力避けたい。かといって、このまま放置しておくことはできない。最大のネックはこの処理費をどこが負担するか、ということだった。

ここで北岡理事の交渉力が遺憾なく発揮される。運送組合の理事長に掛け合い、コストのからない回収を依頼した。ホール側に対しては大遊協の広報誌を通じて、速やかな処理を啓蒙した。一番コ

ストがかかる中間処理業者の社長とは「今回だけは一肌脱いで欲しい」とひざを付き合わせた。北岡理事の無理難題を処理業者の社長は「パチンコ業界で随分世話にもなった。業界のためになるのなら恩返ししたい」と二つ返事で引き受ける。

処理業者の全面協力を受け、適正処理が大きく前進する。倉庫に眠っていた3000台あまりの4号機を半年間で適正処理することになった。

「関西の倉庫には4号機は残っていません。リサイクルを長年やってきましたが、これは一番感慨深い。大遊連と近畿の5遊連、運送組合と処理業者の連携プレイがあればこそ処理できましたが、私の誇れる仕事です」と胸を張る。

## 凝り性の趣味は 玄人はだし

ここで自他共に認める趣味人である北岡理事のプライベートタイムに目を向けてみよう。「何でも3日坊主。ある程度マスターすると嫌になる」という性格は自分自身が一番よく知っている。途中で止められないように自分を追い込

んでから始める。

陶芸がそうだった。少し余裕が出てきたので、昔から興味があった土いじりがしたくなった。北岡理事の場合は、いきなり自宅の庭に陶芸用のアトリエを建てるところから始めた。これが北岡流である。道具は専門店で陶芸窯や電動ろくろ、粘土など陶芸に必要なものを一式を揃えた。店の人から「ここで習ったんですか？」と聞かれ「今から習うところです」。ズブの素人が高価な窯から買うことはまずない。陶芸教室へ行く時間もなかった。師匠は本。陶芸関係の本や作品集を15冊ほど買い込んだ。土のこね方から焼き方まですべて独学だった。萩焼、備前焼、信楽焼とチャレンジした。凝り性なので腕前はどんどん上達した。作品はいつしか玄人はだしの領域に達する。備前焼で作ったビアカップは特に好評だった。

「陶器で飲むとビールが旨くなるんですね。泡がクリーミーで、何杯飲んでも苦味を感じない。おだてに乗りやすい性質なので60個ほど作って配りましたね(笑)」

ゴルフもそうだった。いきなり会員権を買い、ハーフセットを揃

## 関西遊商 北岡昭彦理事トリビア

血液型	A型
座右の銘	有言実行
好きな本	西村京太郎
好きな色	グリーン
好きな音楽	演歌
好きなスポーツ選手	丸山茂樹
好きなタレント	特になし
好きな歴史上の人物	特になし
カラオケ十八番	特になし
趣味	ゴルフ 陶芸 園芸
今年のモットー	体力気力の増進

えた。すでに止めている陶芸とは違い、35年になるゴルフだけは未だに続いている趣味。長らくシングルを張っていた時期もあるが、最近は体力の衰えから「今はハンデイ10を維持するのが精一杯。飛ばないから力む。それでスイングを崩す」。それでも昨年11月、初めてのホールインワンを達成した。70人あまりを招いて記念コンペも開いた。

今でも年間60回はコースに出る。プロのトーナメントに使われるコースは全制覇した。テレビに映し出されるコースで自分のプレイを振り返るためだ。アメリカのPGAトーナメントが開かれるペブルビーチなどへ度々出かけることも健康維持の秘訣だ。

社会貢献のために、近商主催によるチャリティコンペが平成5年から14年までの10年間続けられた。チャリティ金は読売新聞社の光と愛の事業団へ寄贈された。





本拠地が東海岸の「ニューヨーク」から西海岸の「ロサンゼルス」に移った。チームカラーは「紺」から「赤」へ変わった。球団のスローガンも「伝統」から「改革」となった。今シーズン、松井秀喜選手は7年間親しんだヤンキースからエンゼルスに戦いの場を移すことになった。「自分の中ではとくに「変わった」という意識はありません。ただ今までと違った松井秀喜を皆さんにお見せできるように頑張りたいと思っています」。

テレビ局の取材では「2010年の意気込みを漢字一文字で表わして欲しい」と依頼され、「新」としたためた。17年間のプロ野球人生を振り返ってみても、彼がそんな気持ちになったのは恐らく初めてのことでないだろうか。

移籍の反響は各方面に及んだ。それは球団広報の僕も肌で感じたことだった。

キャンプ初日、グラウンドに押し寄せた報道陣を見て直感した。「これはまずい!」。その日集まった報道陣の数はざっと70人。そのうちエンゼルスを取り巻く米国メディアの数は5人。残り65人は日本メディアと見て取れた。東京

ドームならまだしも、ここはアリゾナ州テンピである。ヤンキース時代でさえ6（米国メディア）対4（日本・台湾メディア）だったマスコミの比率が、エンゼルスでは9（日本メディア）対1（米国メディア）と逆転現象を起こしていた。経験からすれば、この「逆

イアが同時に囲むことになる。彼らが聞きたいのは大方「松井秀喜」のことばかり。しかし、監督は日本語が話せるわけではなく、かといって日本メディアのすべてが英語に堪能なわけでもない。9対1の割合の中で、話題の矛先も一選手とチーム、コミュニケーション



#### 広岡 勲 ■ ひろおか・いさお

1966年、東京都生まれ。ニューヨーク市立大学大学院修士課程修了。報知新聞社、ニューヨーク・ヤンキースをへてロサンゼルス・エンゼルスに入団。現在、球団広報、環太平洋担当を兼務する。著書に「ヤンキース流広報術」（日本経済新聞社）「道は自分で切りひらく」（岩波書店）「こんな時代だからこそ心にとめておきたい55のことから」（アーティストハウス）など多数。



転現象”なるものは、ある意味、数学の方程式を解くより頭を抱えさせる。それは、監督に対する日々の取材を例に取るとわかりやすい。練習や試合後にソーシア監督を一斉に報道陣が取り囲むのだが、前方に5人の米国メディアが陣取るも、その周りには65人の日本メデ

手段も日本語と英語、段取りもかつてのヤンキース流と新たなエンゼルス流など、様々なものが絡み合ってくるのだ。その状況は、フィールド上でも、クラブハウス内でも、記者席でも続くことになる。小さな違和感の積み重ねが、ある日突然、大きな軋轢を生じさ

せることもあるのだ。そう、一歩間違えば、日米メディア摩擦すら起きかねない状況だ。

もちろん多大なるプラス面もある。広告効果の増大だ。エンゼルス球団のマーケティング担当によれば、昨年まで球場内に一つもなかった日系企業の広告看板が、今季は7社に。しかも松井の入団が決まった直後に参入したというから関係者の驚きも大きかったという。「もちろん企業の狙いは、衛星放送を意識した日本の視聴者に対する広告であるという意図は否定できない」とは担当者。ただ、シーズンが開幕してからもいまだに問い合わせがあるそうで、球団としてもこれを機に本格的な日本市場への参入を検討している。「球場の近くにはデイズニールランドもあるし、今年は野球観戦とセットで日本からロサンゼルスに来られる観光客の数も増えるでしょう」と日系の旅行代理店も頬をゆるませている。不況と言われる経済下で、一日本人大リーガーの移籍がここまでメジャーリーグ（MLB）全体に貢献していることを松井自身はどこまで認識していることだろう。



# ぱちんこ Happiness 野球人

水野雄仁



私が初めてパチンコ屋さんへ足を踏み入れ、ハンドルを握ったのはもう26年前になりますかねえ。徳島県の池田高校から巨人のドラフト1位指名を受けて入団後、上京してファーム（2軍）に在籍しながら寮生活を始めた1984年ころだったと思います。

当時は夕方までにイースタン・リーグの2軍戦や練習も終わってしまうので、結構時間をもてあましたりもしていました。だから、そんなビギナー時代は勝ち負けよりも完全な暇つぶしとして楽しんでいました。その後、1軍に定着してからは生活時間帯もナ

イター中心に大きく変わりましたから、パチンコからはしばらく遠ざかりましたね。

プロ野球選手の1軍での生活時間帯というのは昼前に起きて、寝るのは日付が変わった午前零時過ぎというのが基本。なぜなら午後6時に試合開始のホームゲーム（巨人の場合は基本的に東京ドームでの試合）の場合、球場入りが午後2時で、午後4時まで練習。その後、マッサージを受けたり、軽めの夕食を摂ったりしてからプレーボール。試合後にシャワーを浴びてから遅い晩ご飯を食べ、飲みに出たりしていたら就寝は明け方近くなることも。当然、パチンコで遊ぶ時間はなくなるわけです。

元々、この手の遊びは嫌いな方ではありませんが、キャンプでの休日や遠征時の昼間など空き時間が出た際にはチームメイトを相手に、もっぱら麻雀を楽しむようになりました。ユニホームを脱いだ今では毎週末の競馬もパチンコと並んで大きな楽しみの一つです。それ以外にも例えばトークショーイベントなどの仕事がらみで競艇を楽しむことも時々あります。どの種目も勝率は結構高いですよ。基本

的に自分の小遣いをひねり出す、手頃な遊びという感じですからね。パチンコに本格的に熱中するようになったのは、1996年に現役引退してからですね。野球解説や取材、あるいは講演などで日本中を飛び回る機会が増えました

が、私は基本的にマネージャーをつけず単独で動きますので、必然的に1人で過ごす時間が大半を占めるようになる。そうなると思えば、麻雀メンバーを集めるのはなかなか大変なので飛行機や電車の待ち時間など、中途半端な空き時間ができるとついパチンコ屋さんへ足を向けるようになりました。短時間で勝った時の喜びも格別ですよ。

好きな機種は水戸黄門、必殺！仕事人、冬のソナタなど、ドラマ性のあるのが楽しいですね。子供のころにテレビで親しんだキャラクターが活躍する機種は胸がワクワクしますよ。中でも今春デビューした「明日のジョー」なんて、私たちの世代では最大のヒーローだったキャラクターですからCMで見た時から設置を心待ちにしていたほどです。おまけに出玉がザクザクと来れば、本当にこたえられませんよ。競馬や競艇も人並みに

にたしなみですが、ドル箱を積み上げる快感は、パチンコでしか味わえないものです。

最近のパチンコ店は、広い駐車場を備えた郊外型の大きなホールが主流ですね。地方へ行っても驚くほどゴージャスな建物に圧倒されることしばしばあります。そういうホールは中も清潔でゆったりとしていて快適に遊べるのが何よりですよ。残念ながら、私自身は1、2時間程度の空き時間を利用することが大半で長時間楽しむ機会はありませんが、コーヒーなどの飲み物サービスだけでなく、ちょっとしたレストランなども備えていたりするから、お客さんにとっては本当に居心地のいいアミューズメント施設だという実感を強くしています。私にとってパチンコは今後も、末永く続けていきたい楽しみの一つですね。

## みすの・かつひと

1965年9月3日生まれ、43歳、徳島県出身。徳島県立・池田高のエースとして活躍、82年夏、83年春の甲子園連覇。83年ドラフト1位で巨人入団。先発、救援にフル稼働して265試合に登板、39勝29敗17セーブ、防御率3.10。96年に引退後、98年には巨人投手コーチ。現在は日本テレビ野球解説者、スポーツ報知評論家として活躍中。





若さと実力を発揮して晴れの第1回優勝を獲得した中国遊商選抜チームの勇者たち（左から岩本、平田、井上、安藤の各選手）



初めての「チャリティーゴルフコンペ」という事もあって、競技前日には、この大会の提唱者でもある地元中国遊商が中心になって企画し、広島朝鮮歌舞団の歌と踊りのアトラクションなどで前夜祭を盛り上げてくれた。井上会長からは「このチャリティーゴルフコンペは、松原副会長（中国遊商理事長）からの強い要望があり、それをまとめた事業広報委員会の日野委員長をはじめ、委員会の皆様大変ご苦労様でした」と記念すべき第1回全商協会長杯チャリティーコンペ開催に至った経緯の説明と、関係者への労いの言葉があった。中華料理に舌鼓を打ちながら、ゴルフ談話だけでなく、厳しい遊技機業界の現状についての真面目な話にも舌戦を繰り広げ、早くも盛り上がりを見せていた。

称号・晃山製作の銀製トロフィー。選抜選手たちの熱い視線が注がれた



「第1回の記念すべき大会を是非とも盛り上げていきたい」と選抜代表選手の活躍に期待する井上会長（前夜祭で）

## 第1回

## 全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ

# 全国8地区遊商組合員の 親睦・団結・相互理解を 一層深めよう！

第1回全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ大会が、3月10日、岡山県総社市の名門コース「鬼ノ城ゴルフ倶楽部」で開催され、全国8地区遊商から選ばれた各2チーム合計16チーム・64選手が参加して、熱戦が繰り広げられた。

「会長杯争奪戦」となった団体戦、全商協にとっては初めてのチャリティーを兼ねてのゴルフコンペだ。前夜からのミゾレ混じりの雨は上がったものの、真冬並の寒さの中でのプレーとなったが、各選手とも寒さを吹き飛ばす元気なプレーを披露、各地区から選ばれた名誉をかけて、和やかな中にも日頃の練習の成果を競い合った。

その結果、前評判の高かった中国遊商Aの「選抜チーム」が、難しいコースを見事に攻略する実力を発揮して、晴れの初代チャンピオンに輝いた。4人中ベスト3のネットスコア合計が215・4（平均71・8）と、2位の関西遊商B「De関商チーム」に4打差をつけての快勝だった。3位にも中国遊商Bが合計ネットスコア219・4で入った。

表彰式では、井上会長から銀製のトロフィー、会長杯が中国遊商「選抜チーム」に手渡された。

なお、大会の趣旨である「チャリティー」として各地区遊商から協賛頂いた金額に全商協からの寄付金を加えた合計100万円を「財団法人 自動車事故被害者援護財団」を通じて交通遺児支援に役立ててもらうため寄付した。

チャリティーゴルフの収益金は3月19日、財団法人自動車事故被害者援護財団・大嶋茂常務理事に寄贈された







スタートに先立ち井上会長が鉛球式。力強いドライバースhotsを披露した

## ● 団体成績 ●

順位/合計	チーム名	競技者名	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
<b>優勝</b>	<b>選 抜</b>	井上 貴博	36	40	76	4.8	71.2
215.4	(中国遊商A)	安藤 一秀	40	45	85	15.6	69.4
		平田 耕造	46	42	88	13.2	74.8
		若木 孝吉	53	43	96	16.8	79.2
<b>2位</b>	<b>De 関 商</b>	和久山 守彦	40	49	89	10.8	78.2
219.2	(関西遊商B)	工 井 昭彦	45	39	84	12.0	72.0
		笠松 義清	43	49	92	18.0	74.0
		小西 哲也	45	45	90	16.8	73.2
<b>3位</b>	<b>よっぱらい</b>	松原 陽輔	48	48	96	24.0	72.0
219.4	(中国遊商B)	木村 光一	39	42	81	7.2	73.8
		上 泰彦	51	49	100	26.4	73.6
		柏木 清秀	45	48	93	15.6	77.4
<b>4位</b>	<b>釜 玉</b>	日野 委員	45	45	90	16.8	73.2
220.8	(四国遊商A)	青木 邦夫	41	44	85	8.4	76.6
		今村 敬吾	43	43	86	10.8	75.2
		植田 隆俊	43	45	88	15.6	72.4
<b>5位</b>	<b>トンコツ</b>	山本 健彦	53	57	110	33.6	76.4
220.8	(九州遊商A)	奥原 知	46	45	91	20.4	70.6
		武下 俊治	41	51	92	13.2	78.8
		高橋 二美	41	46	87	13.2	73.8
<b>6位</b>	<b>タイガーオッス</b>	井上 威夫	50	50	100	27.6	72.4
221.6	(関西遊商B)	船橋 昭彦	47	49	96	13.2	76.8
		正 泰男	49	45	94	15.6	78.4
		三井 勇男	47	53	100	27.6	72.4
<b>7位</b>	<b>おみや〜さん</b>	船橋 昭彦	62	57	119	32.4	86.6
225.2	(中部遊商B)	前島 平井	41	41	84	9.6	74.4
		山内 志	43	46	89	16.8	72.2
		内山 志	46	47	93	14.4	78.6
<b>8位</b>	<b>やととかめ</b>	安藤 利彦	50	47	97	21.6	75.4
227.2	(中部遊商A)	安宮 本	44	44	88	13.2	74.8
		和 宏	46	55	101	24.0	77.0
		船戸 良彦	70	69	139	36.0	103.0
<b>9位</b>	<b>伊達男A</b>	秋田 榮吉	48	56	104	25.2	78.8
229.0	(東北遊商A)	志賀 健次	56	56	112	34.8	77.2
		佐藤 公喜	49	53	102	21.6	80.4
		佐藤 健次	43	42	85	12.0	73.0
<b>10位</b>	<b>コンサドール</b>	遠藤 重廣	58	52	110	27.6	82.4
232.4	(北遊商A)	島山 和生	63	54	117	36.0	81.0
		金沢 武雄	46	47	93	20.4	72.6
		堀 晃	46	52	98	19.2	78.8
<b>11位</b>	<b>こんぴら</b>	豊利 敬	47	47	94	14.4	79.6
233.2	(四国遊商B)	天本 樹石	52	56	108	30.0	78.0
		砂川 生明	44	49	93	12.0	81.0
		河野 賢一	53	43	96	20.4	75.6
<b>12位</b>	<b>もんじゃ</b>	安藤 孝	47	50	97	22.8	74.2
234.2	(東遊商A)	大澤 雅之	61	66	127	36.0	91.0
		根岸 淳治	48	42	90	16.8	73.2
		清水 靖若	54	58	112	25.2	86.8
<b>13位</b>	<b>メンタイ</b>	敬通 63	52	115	32.4	82.6	
235.6	(九州遊商B)	石山 敏達	56	56	112	30.0	82.0
		若下 樹	64	49	113	31.2	81.8
		八坂 真吾	45	52	97	25.2	71.8
<b>14位</b>	<b>ファイトーズ</b>	藤西 孝宏	58	61	119	31.2	87.8
236.0	(北遊商B)	近藤 光弘	54	57	111	33.6	77.4
		中村 賢一	49	53	102	20.4	81.6
		丸山 大輔	49	52	101	24.0	77.0
<b>15位</b>	<b>お こ し</b>	仙田 博久	56	65	121	26.4	94.6
238.6	(東遊商B)	佐々木 剛司	53	52	105	27.6	77.4
		小島 利幸	49	50	99	19.2	79.8
		佐久間 隆智	59	56	115	33.6	81.4
<b>16位</b>	<b>伊達男B</b>	鈴木 修	54	57	111	34.8	76.2
245.0	(東北遊商B)	奥海 良弘	46	57	103	25.2	77.8
		最上 幸司	63	64	127	32.4	94.6
		高橋 一則	65	62	127	36.0	91.0

スコアは最悪でも、しっかりと「飛び賞(13位)」を獲得してご満悦の石山敏達副会長



前夜祭の宣言通りに快勝で優勝を飾った中国遊商の松原理事長。会長杯チャリティーゴルフの提唱者だけに満面の笑顔で早くも連覇を誓っていた



関西遊商は「De関商」が2位に入り次回の開催権を獲得した。井上会長から表彰を受ける笠松理事(左)

## 全商協会会長杯チャリティーゴルフコンペ



噂通りの実力を発揮して優勝カップを手にした中国遊商は、若手中心の「選抜チーム」を送りこんでの快勝。「何としても第1回大会を優勝して、名誉ある会長杯を頂きますよ」と断言していた松原理事長は、面目躍如といったところだった。その銀製のトロフィーは「金銀工芸品作家」三田清瑞氏(号: 晃山)製作による匠の技を駆使した特注品とあって、今後の争奪戦が楽しみになってきた。

「中国遊商は予選会を開いて選手を選抜したそうですよ。今後は連覇も狙ってくるようですので、他も頑張ってもらわないと」日野委員長は更なる大会の盛り上がりを期待し、井上会長も初めての大会がスムーズに終了できたことで、今後の発展を願った。



代表選手64人が勢ぞろい。それぞれの地区遊商の名誉をかけた会長杯争奪戦の前に笑顔で記念写真



# お知らせ

## 4月から「広域認定制度に移行」

今回は、使用済み遊技機の処理会社及び全商協の環境に対する取り組みについてお話しします。

全商協会員の8組合は環境省より「広域再生利用指定産業廃棄物処理業者」（以下、「指定制度」という）として認可されました。この歴史をひもとくと平成9年に九州遊商が当時の厚生省より「指定制度」の認可を受け、その後他の地区遊商も「指定制度」を順次取得し、最大100万台の遊技機を処理した実績があります。このように8組合は、廃遊技機の不法投棄、野積みなどの環境問題にも遊技機業界としていち早く対応してきました。しかし平成15年に「指定制度」を規定している「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正されたことによって「指定制度」が廃止され「広域認定制度」に変わりました。

8組合は「広域認定制度」に移行するよう環境省に申請しましたが、同省より「本制度は製造事業者のための法律なので遊技機メーカー又は日本遊技機工業組合（以下、「日工組」という）に取得してほしい」とのことです。8組合は「広域認定制度」に移行できず「指定制度」は経過措置の扱いになってしまいました。その後、日工組を交えた協議の結果、日工組が「広域認定制度」を取得することになり、2009年12月9日に認可を受け本年4月より運用を開始したことからその役目を終えます。

した。前述の「指定制度」と「広域認定制度」における登録処理業者が(株)ユーコーリプロです。

(株)ユーコーリプロは埼玉県及び北九州市の2か所にリサイクル工場を有しています。西日本リサイクル工場は、2002年9月に北九州市の北九州エコタウン内に遊技機の廃棄台専用の最新鋭プラントとして設立されました。同工場は、敷地面積約1万坪で年間処理能力は約200万台と業界では最大の規模を誇っています。また東日本リサイクル工場も2006年に埼玉県騎西町藤の台工業団地内に移設し、同工場も年間140万台の処理ができることから、2つの工場を合わせると年間約340万台もの遊技機の処理が可能となります。

工場に搬入される遊技機は、事前に併設された遊技機交換センターで「回収台管理番号」、盤・枠の「製造番号」、「主基板管理番号」のQRコードを読み込み、さらにメーカーごとに仕分・保管されるため、効率的なリサイクルが行えるとともに、1台1台をシステム上でデータ管理し、万全なセキュリティ対策がされています。また、処理された遊技機の情報も定期的にメーカーへ報告され、メーカーにて台の機体管理に利用されています。近年では、特に「リユース」に力を入れており、手作業で丁寧に取り外されたパーツは、パーツごとにデータベース化され効率的に受注・発送できる体制が整備されています。

今後は、新たな日工組遊技機回収システムの管理会社も務め、さらなる遊技機の適正処理に努めます。

### 会社概要

社名：株式会社ユーコーリプロ 代表取締役 金海龍海  
設立：1992年9月 資本金4億円  
本社：福岡市中央区渡辺通5丁目24-30 東カン福岡第1ビル2F  
事業内容：廃パチンコ機・廃パチスロ機再利用システムの受託管理、  
液晶付遊技機の買取並びにその処理及び部品の販売  
許認可・資格：産業廃棄物処分量（中間処理・北九州市・埼玉県）  
産業廃棄物収集運搬業（積み替え保管を含む・埼玉県）  
ISO14001・ISO9001など

以上が使用済み遊技機の処理方法です。全商協としても今後は、環境対策に力を入れていきます。中部遊商では既に「アイドリングストップ」、「早めのアクセルオフ」などの燃費の向上を意識するエコドライブ講習会を開催し、事務所の照明をLED蛍光灯に替えました。また関西遊商では、石灰石を原料とするストーンペーパーで名刺を作ることなどに取り組んでいます。一人一人がエコ意識を持ち、少しずつ積み重ねていくことによって大きな効果が得られるよう、各地区の組合員として何が出来るかを積極的に考えていきます。

ユーコーリプロ 西日本リサイクル工場



手作業で丁寧に取り外されるパーツ



リサイクルの工程説明パネル

併設された  
遊技機交換センター



## 編集後記

■環境問題に対する取り組みが、遅ればせながら全商協でも各単組を中心に活発化してきた。中でも中部遊商（安藤利彦理事長）では、「エコドライブ講習会の実施」や「充電式乾電池の共同購入」「LED蛍光灯の設置」「環境関連施設の視察」等、積極的なエコ対策を具体的に打ち出して、実施している。というのも、安藤理事長が全商協・リサイクル・環境対策委員会の委員長であり、率先して呼びかけていることも影響しているようだ。

■「中部では昨年6月にスタートしたばかりの委員会だが、山川委員長が大変熱心なので驚いている」（安藤理事長）と同委員長のリーダーシップを大変評価していました。特に、「エコドライブ講習会」を主催、JAFの指導委員を呼んだり、自動車メーカーに働きかけて講習会用の車を調達したりと実施に向けて大活躍、初めてのエコドライブ講習会（1月15日・名古屋市内の自動車練習場）には30人の組合員も参加して「燃費節約ドライブ」を実感できたとのこと。

■「エコドライブ」は特別なテクニックが必要ではないようで、「ドライバーの意識が変わることでCO2の排出量を減らすことができる。特に普段の発進より少し緩やかに「やさしい発進」だけで、約11%の燃費向上に役立ち、それにより「1人年間約1万円前後の燃料代が節約できる」というから、安全運転も兼ねて是非ともエコドライブに協力実践したいと思う。（S）

# NEWS

## 4団体合意、事案対応の指針決定

全日本遊技事業協同組合連合会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合の4団体は1月27日、昨年1月末までに締結した大量導入による優先販売の是正等を盛り込んだ「4団体合意」への抵触に疑いのある事案に対応するための運用指針を明らかにした。

運用指針のタイトルは、「問題とされる取引条件の提示に関する情報の共有化」について。まずは報告者の情報は原則「提示」とし、当事者の所属する全日遊連と、日工組又は日電協の2団体間で情報を共有。解決後に4団体でも共有する。また当事者の改善が見られない場合は、4団体の代表者連盟の要請文書を発出。事案への対応内容や再発防止策の回答を文書で求める。

## パチスロ自主規制の内容が明らかに

日本電動式遊技機工業協同組合、日本遊技機工業組合、電子遊技機工業協同組合の加盟メーカーと、団体非加盟の賛同会員で組織する回胴式遊技機製造業者連絡会は昨年12月22日、パチスロ自主規制等に関する研修会を開催。

研修会での焦点は、昨年10月開催の研修会で報告されたアシストリプレイタイム（ART）など大量出玉が見込める性能に関する自主規制。その詳細はARTの期待出玉数が3000枚（遊技球1万5000個）を超えず、設定枚（個）数は性能上、最大出玉を獲得できる状態を前提とし、更にART中のボーナス及び上乗せ分等の出玉数も含むというもの。連絡会では「今後、問題のある遊技機が市場に登場しないよう未然に防ぐ措置」と説明した。

## 09パチンコMVPに『CR牙狼』

ニフティは1月20日、パチンコ・パチスロ新機種情報サイト「777@nifty」において、「パチンコ・パチスロAWARD2009」を発表。今年で9回目となるアワードは、08年11月～09年10月までに発表・発売された機種を対象。「パチンコMVP（ハイスベックand遊パチ）」「パチンコMIP」「パチスロMVP」「パチスロMIP」の5部門の各受賞タイトルは以下の通り。

- パチンコMVPハイスベック部門：CR牙狼（サンセイR&D）
- パチンコMVP遊パチ部門：CRA花の慶次（雲のかたに）（ニューギン）
- パチンコMIP：CRシャカRUSH（マルホン工業）
- パチスロMVP：緑ドン（エレコ）
- パチスロMIP：忍魂（大都技研）

次号は7月に発行予定です。  
「中古遊技機流通の新たな運用方法」を特集します。





<http://www.zenshokyo.jp/>